

※ 相続の場合の4条届出の記載例

<p>正 農地法第4条第1項第7号の規定による農地転用届出書</p> <p style="text-align: right;">令和〇〇年〇〇月〇〇日</p> <p>川崎市農業委員会会長 様</p> <p style="text-align: right;">届出者 被相続人 〇〇〇〇 相続人 〇〇〇〇</p> <p>下記によって農地を転用したいので、農地法第4条第1項第8号の規定によって届け出ます。</p>						
1 届出者の住所及び職業	郵便番号	住所			連絡先電話	
		上記「 <u>相続人</u> 」について記入				
2 土地の所在、地番、地目及び面積並びに所有者及び耕作者の氏名、住所	土地の所在	地番	地目 登記簿 現況	面積 m ²	土地所有者 氏名・住所	耕作者 氏名・住所
	川崎市高津区 梶ヶ谷2丁目	1-71	畑	170	高津 一郎 川崎市高津区 梶ヶ谷 2-1-7	
	川崎市高津区 梶ヶ谷2丁目	1-72	田	130	高津 一郎 川崎市高津区 梶ヶ谷 2-1-7	
	以下余白				被相続人氏名・ 住所を記入 (登記簿上の所有者の住所・氏名を記入)	現況が田・畑の場合は「耕作者」を記入 (耕作者がいない場合は「なし」と記入) 現況が田・畑以外の場合は「なし」と記入
	実際の現況を記入 (畑、田、宅地、雑種地等)					
計		300 m ² (田 130 m ² ・畑 170 m ²)				
3 転用計画	転用目的	自己住宅、共同住宅、建売住宅等を記入				
	転用の時期	工事着工時期	具体的な年月日を記入するか、「受理後」と記入			
		工事完了時期	具体的な年月日を記入するか、「受理後〇ヶ月」と記入			
転用の目的に係る事業又は施設の概要						
4 転用することによって生ずる付近の農地、作物等の被害の防除施設の概要	(被害が生じない場合) 「特になし」と記入 (被害が生じる可能性がある場合) 被害の防除施設の概要等を具体的に記入 「コンクリートブロック擁壁 H=2.0m」 「U字溝 W=0.3m」 等		(記載例) 共同住宅・・・鉄筋コンクリート〇階建て 〇世帯、延床面積〇m ² 自己住宅・・・木造〇階建て 〇棟 延床面積〇m ² 駐車場・・・砂利敷、アスファルト舗装、〇台 公衆用道路・・・砂利敷、アスファルト舗装 資材置場・・・整地して使用します 等			

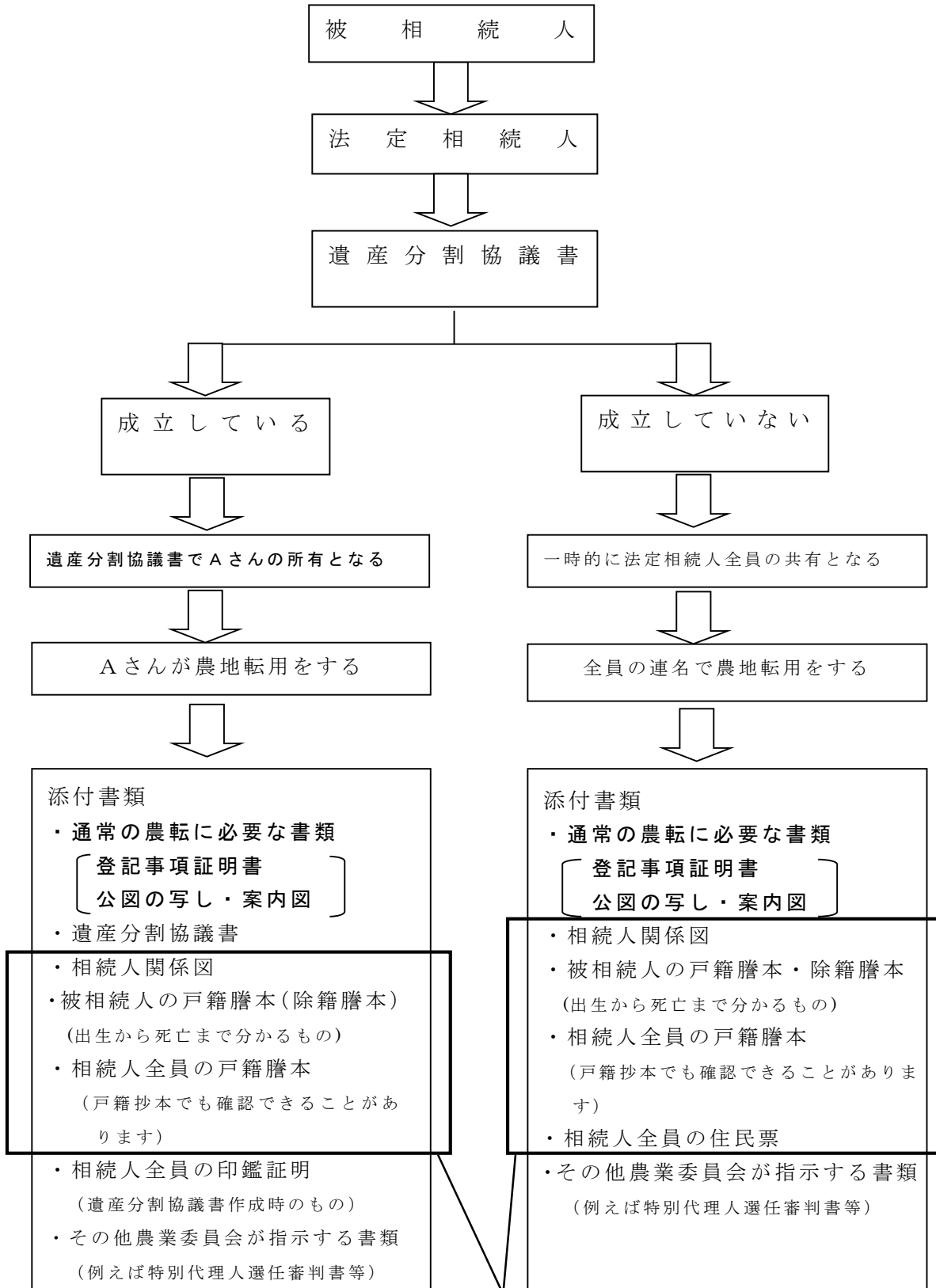
必ず記入してください。

下記事項について該当するところに〇印を記入してください。

	当該農地について	
転用する農地の他法令等との関連について	1 生前一括贈与の適用 (うけている・うけてない)	4 生産緑地の指定
	2 相続税納税猶予の適用 (うけている・うけてない)	5 その他の指定 ()
	3 農業者年金経営移譲の適用 (うけている・うけてない)	

通常の添付書類のほかに必要なものがあります。詳しくは別紙「相続の場合の農地転用届出の手続について」を参照ください。

相続の場合の農地転用届出の手続について



※これらの書類については法務局が発行する法定相続情報証明書で代えることができます。

登記事項証明書以外の書類につきましては原本還付することができます。
(原本と写しの照合をするため原本と写しの両方をお持ちください。)